

4日目 7月16日

会 場: 県立浜山球場

第1試合	～2回戦～ (8回コールド)																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
島根中央	0	0	0	1	1	0	0	0								2	6	2		
矢 上	0	3	0	2	1	0	2	1x								9	11	1		
(投手-捕手)																				
・ (島)	伊藤和→小林→大澤 - 大屋																			
・ (矢)	中村→柘植 - 福田																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (島)	太田、小林																			
・ (矢)							日高													
(審判) [球審]	安達健			〔一塁〕 藤原周			〔二塁〕 佐々井			〔三塁〕 波多										
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(島)	33	6	2	2	0	0	5	5	1	1	7	2			2	0	0	1	0	
(矢)	46	11	9	0	1	0	6	15	5	2	15	1			1	0	2	0	0	

「矢上、日高が4安打4打点と大暴れ！」

大会4日目浜山会場の第1試合は、石見地区の隣町対決となった。矢上はシードこそ獲得していないものの、石見地区大会決勝戦を9回2死からの逆転で制しており実力がある。

試合は矢上が優勢な展開となった。2回裏、矢上は四球と犠打、野選で2死満塁とし、1番日高が詰まりながらもライトへ運び適時打で2点を先制する。続く秋田がセフティーバントを決め1点を追加する。4回裏にも安打と犠打、捕逸で1死3塁とし、1番日高が右中間への適時3塁打を放つと、続く打者の内野ゴロの間に3塁走者が生還し2点を追加した。

反撃したい島根中央は4回表に四球とボーク、タッチアップで1死3塁とし6番佐々木カが一二塁間を破る適時打で1点を返すと、5回表にも5番小林のライト線に落ちる適時2塁打で1点を返した。しかし、島根中央は投手陣の制球が安定せず結局計15四死球を許してしまい失点を重ねていった。

矢上は5回裏、三四死球で1死満塁とし1番日高の適時打で1点を追加すると、7回裏にも死球と牽制悪送球、安打などで1死2・3塁とし3番中西の犠飛、4番大田のセンターへの適時打で2点を追加する。8回裏にも継投した投手から三四死球で1死満塁とし最後も1番日高のセンターへの適時打で1点を追加し7点差をつけコールドで3回戦へ駒を進めた。

